

# 電力・ガス・食料品など価格高騰 緊急支援給付金について

電力・ガス・食料品などの価格高騰の影響をふまえた経済的臨時措置として、住民税非課税世帯などに対し、一世帯あたり5万円を支給します。

## ■対象世帯

### (1) 住民税非課税世帯

令和4年9月30日時点で広野町に住民登録があり、かつ、世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯。

### (2) 家計急変世帯

令和4年9月30日時点で広野町に住民登録があり、かつ、予期せず令和4年1月以降の収入が減少し、住民税非課税世帯相当の収入となった世帯。

(定年退職や自己都合退職など、予期できる収入の減少は対象となりません。)

## 住民税均等割が非課税となる収入などのめやす

扶養している親族の状況	非課税相当収入限度額	非課税相当所得限度額
単身または扶養親族がない場合	930,000円	380,000円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	1,378,000円	828,000円
配偶者・扶養親族(2名)を扶養している場合	1,680,000円	1,108,000円
配偶者・扶養親族(3名)を扶養している場合	2,097,000円	1,388,000円
配偶者・扶養親族(4名)を扶養している場合	2,497,000円	1,668,000円
障がい者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	2,043,000円	1,350,000円

## ■支給額

一世帯あたり5万円(住民税非課税世帯、家計急変世帯問わず支給は一世帯につき1回限り)

## ■受付期間

令和5年1月31日(火)まで

## ■手続方法

### (1) 住民税非課税世帯

令和4年度住民税非課税世帯の方及び給付金に該当する可能性のある方(未申告の方がいらっしゃる世帯、令和4年1月2日以降の転入世帯など)へ手続きに係る書類を送付しております。手続きの方法につきましては、同封の案内をご覧ください。

また、給付金の対象と思われるが書類が届かない場合は、広野町健康福祉課(☎0240-27-2113)までお問い合わせください。

### (2) 家計急変世帯

家計急変世帯に該当する方は、広野町健康福祉課(☎0240-27-2113)までお問い合わせください。手続きに係る書類を送付させていただきます。

問 広野町 健康福祉課 ☎0240-27-2113

## 令和4年第4回広野町議会定例会議案

議案第71号	広野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第72号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
議案第73号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第74号	地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第75号	令和4年度広野町一般会計補正予算(第6号)
議案第76号	令和4年度広野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第77号	令和4年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第2号)
議案第78号	令和4年度広野町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第79号	令和4年度広野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
議案第80号	令和4年度広野町介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第81号	令和4年度広野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

生涯学習課  
10月2日、集団対抗パークゴルフ大会を二ツ沼パークゴルフ場において、各行政区長のご協力のもと85名の参加により開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となりましたが、結果は、第7集団が優勝しました。



集団対抗パークゴルフ大会で優勝した第7集団のみなさん

10月9日、第9回市町村対抗福島県ソフトボール大会が、相馬市光陽ソフトボール場で開催されました。湯川村と対戦し、1対16で初戦敗退となりました。

10月22日、広野町青少年健全育成町民会議、青少年健全育成事業として「ハロウィン・フラワーアレンジメント教室」を開催し、小学2年生から高校2年生までの7名が参加しました。フラワーアレンジメントづくりを通して、子どもたちの創造力と自然との調和の心を養うとともに、新しいものに挑戦する意欲を育みました。  
11月5日・6日の2日間、ひろの秋祭り「文化展」を開催いたしました。子どもたちを始め、各種団体から多くの作品が出品されました。また、呈茶コーナーにおいては、広野町文化協会「茶道みどり会」の協力のもと、町内外から900名のご来場により、おいしい和菓子と抹茶が振る舞われ、安らぎのひと時を味わっていました。  
11月6日、第25回広野町生涯学習発表会を中央体育館において開催いたしました。文化展と同時に開催し、多くの来場者で賑わうなか、出演した8団体が日頃の稽古の成果を披露いたしました。  
11月12日、広野町青少年健全育成町民会議、青少年健全育成事業として「手作りアロマグッズ教室」を開催し、小学2年生から中学3年生までの4名が参加しました。植物の恵みである精油の香りを体験するとともに、香り漂う石けんやハンドクリーム作りを通して「嗅覚」に意識を向け、豊かな感性や自然環境の大切さを学びました。  
11月20日、第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会(ふくしま駅伝)が、白河市総合運動公園陸上競技場をスタートし、福島県庁をフィニッシュとする16区間、95キロメートルで繰り広げられました。日頃より厳しい練習をしてきた選手が頑張りにより全員が無事完走し、総合成績においては52チーム中、21位、町の部においては27チーム中、7位となり、町の部において4年連続、5度目の入賞を果たしました。



ひろの恐竜展

11月26日・27日の2日間、広野町文化交流施設ひろの未来館の企画展として「ひろの恐竜展」を開催いたしました。町民に広野町にある恐竜化石の存在を知ってもらおうとともに、群馬県神流町恐竜センターや有限会社ゴビサポートジャパン、相馬市村層群研究会の協力を得て、子どもたちに恐竜化石の勉強をしたり、発掘体験できるコーナーを設け、連日、家族連れなど100名もの来場者が訪れました。  
12月11日、Jヴィレッジハーフマラソン2022が開催され、福島県を訪れた秋葉賢也復興大臣をはじめ、県内外から参加した約1,600人のランナーが、津波の被害から復旧した沿岸部を駆け抜け、福島復興の歩みを確かめていました。Jヴィレッジハーフマラソンは、震災後の交流人口の拡大や地域振興につなげる「復興マラソン」として誕生し、今年で3回目となりましたが、沿道では多くの町民がランナーに拍手や声援を送りました。また、ゴール後は広野町が用意した振る舞い料理の豚汁を食べ、冷えた体を温めていました。